

科目ナンバリング		U-LAS70 10001 SJ50					
授業科目名 ＜英訳＞	ILASセミナー：アート＆ファッション ILAS Seminar :Art & Fashion			担当者所属 職名・氏名	防災研究所 特定教授 土佐 尚子		
群	少人数群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	ゼミナール(対面授業科目)
開講年度・ 開講期	2025・前期	受講定員 (1回生定員)	20 (15) 人	配当学年	主として1回生	対象学生	全学向
曜時限	木5	教室	坂記念館			使用言語	日本語
キーワード	デジタルアート / ファッション / デジタル捺染 / 音の可視化 / ハイスピードカメラ						
[授業の概要・目的]							
現在の防災服は、カッコよさは求められていない。 また、現在のファッションも防災的機能は意識されていない。 早朝に地震が起こった時、そのままの服で逃げたら？ 普段の服が防災服になれば、外に出る時に、もっと時間が短縮され、助かる命が増えるかもしれない。 自分の心音を録音し、その音をハイスピードカメラで可視化し、その一コマを使って、 デジタル捺染で防災に有効な服を考えて、デザインする。 その体験から、音、映像、服がデジタルで繋がることから デジタルとアートとファッションの関係を学ぶ。							
[到達目標]							
服にデジタル技術と防災機能を取り込み、社会や産業にインパクトをもたらす創造的（アートな） な価値を作り出すこと。							
[授業計画と内容]							
授業回数はフィードバックを含め全15回とする。							
以下の要素について研究をしながら、作品を仕上げていく。							
1グループで防災対応できるファッションを考えて企画する							
2 録音した音を、スピーカーで再生し、ハイスピードカメラで動画撮影する							
3 上記で撮影した動画からクリエイティブな1コマを選ぶ							
4 上記から選んだ一コマを防災をテーマにしたファッションのデジタルパターンに入れてファッ ションデザインをする							
5 上記を特殊な紙で印刷し、生地にデジタル捺染する							
6 上記の生地をミシンで裁縫する							
7 映像のデジタル編集を学び作品化							
8 講評							
				ILASセミナー：アート＆ファッション(2)へ続く↓↓↓			

ILASセミナー：アート&ファッション(2)

【履修要件】

映像制作とアートに興味があり、コンピュータの基本操作ができること。
ミシンが扱えればなお良い

【成績評価の方法・観点】

レポート、作品制作、平常点の合計で評価を行う。詳細は授業中に説明する。

【教科書】

土佐尚子『TOSA RIMPA』（淡交社）

【参考書等】

（参考書）
授業中に紹介する

（関連URL）
<https://tosa.dpri.kyoto-u.ac.jp/fashion-week-brooklyn/>

【授業外学修（予習・復習）等】

参考になる映像や展覧会を見る。

【その他（オフィスアワー等）】

・オフィスアワー：午後6時～7時

・色彩の区別を伴う課題に各自取り組んでいただきます。

【主要授業科目（学部・学科名）】